



Konarka Technologies, Inc との資本・業務提携について

2010年3月2日

当社は、Konarka Technologies, Inc.（本社：米国マサチューセッツ州ローウエル 代表者：Rick Hess 社長 以下 Konarka 社）と有機薄膜太陽電池の開発・生産・販売に関する包括的な資本・業務提携契約を締結し、本格的な協業を開始することを基本合意しましたのでお知らせ致します。

【業務提携の背景と狙い】

化石燃料の枯渇に対する懸念や CO₂ 増加による地球温暖化等の環境への影響が地球規模での課題となっています。このような状況下において、太陽光発電は無尽蔵かつクリーンなエネルギーとして大きく期待されており、その関連市場はグローバルベースで急拡大しております。

多くの企業や研究機関によって様々な発電方式が検討・考案される中であって、コニカミノルタが Konarka 社と取り組む有機薄膜太陽電池は、フィルム塗布技術をベースに大量生産が可能となる「ロール・ツー・ロール」方式により、他の生産方式では追従のできない高いコスト競争力を獲得し、発電コスト（お客様が負担する 1kWh 当たりの発電費用）の大幅な低減を実現させることができるものと考えています。さらに、有機薄膜型の軽量・フレキシブルという特性を活かして、従来にない様々な用途に適用することが可能となります。

コニカミノルタは、写真フィルムの製造技術を応用した有機 EL 照明の量産化を既に発表していますが、有機薄膜太陽電池をこの有機 EL 照明事業に続く、環境・エネルギー分野における新たな柱となる事業と位置づけています。また Konarka 社は、高分子材料の高い技術力を活かし、有機薄膜型において世界最高レベルを達成するとともに、米国マサチューセッツ州ニューベッドフォードに量産工場を保有するなど世界に先駆けてこの有機薄膜太陽電池の事業化を開始したメーカーです。

コニカミノルタと Konarka 社は、両社の持つ材料技術、光学技術、塗布生産技術を結集し、有機薄膜太陽電池の性能（変換効率、寿命、生産コスト）を大幅に向上させるための共同開発を 2010 年 4 月から開始し、次世代型太陽電池の量産を目指します。

【提携の概要】

- 両社は 2010 年 4 月より共同開発および生産から販売にいたる包括的な協業を開始する。
- コニカミノルタは Konarka 社に 2000 万米ドルを出資する。
- 両社は、有機薄膜太陽電池パネルを共同生産するため、共同開発の成果を検証した後、国内合弁会社を設立する。有機薄膜太陽電池パネルの生産に関しては、コニカミノルタをアジア地域における Konarka 社の最重要事業パートナーとして協業を開始する。
- コニカミノルタは、有機薄膜太陽電池の重要部材である高性能バリア（封止）フィルムを Konarka 社へ供給し、合弁会社においても共同生産を行う。

今回の Konarka 社との包括的提携により、環境・エネルギー分野において有機薄膜太陽電池を有機 EL 照明事業に並ぶ大型事業に育てるべく具体的な事業展開を推進する基盤が整備されました。

当社は、今後更なる市場拡大が予想される同分野に経営資源を重点投下し、グループの力強い成長と企業価値の最大化を実現してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先
コニカミノルタホールディングス（株） 広報グループ
TEL：03-6250-2100